

夢をかたちに…!!

発行人
星野みつひろ後援会
〒354-0021
富士見市大字鶴馬2612-7
TEL/ 049-254-6332
FAX/ 049-252-4651
www.hoshino-corp.com/3hiro/
e-mail : 3hiro@hoshino-corp.com

平成22年12月10日 No.19

mitsuhiro hoshino supporters news letter

出馬宣言!

“富士見をみつめ、

埼玉県政への挑戦を決意致しました。”

私、星野みつひろは、平成23年4月に実施される埼玉県議会議員選挙に出馬致します。

私は、平成13年に富士見市議会議員として初当選以来、今日まで3回の当選を果たし、市議10年目を務めております。後援会並びに支援者皆様には、これまでの変わらぬご支援と格別なるご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

“夢をかたちに…!!今ここから、私たちの手で”

この言葉は私の初心であり、夢をかたちにする政策を実現すべく努力して参りました。愛するふるさとへの思いは、今でも熱く変わらないばかりか、



ますます募る一方です。明るく豊かな活気あふれる富士見をつくるため、“全身で前進!!”し、この体を使い政治を前に進めます。

しかし、今日の国や地方を被う閉塞感を、どなたも同じように感じておられるはず。私はこの状況自ら、力強さと活力ある政治力をもって打ち破りたいと覚悟を決め、

(次ページ下段へ)



平成22年・9月定例議会報告

●●● 議会トピックス ●●●

9月定例会は8月31日から9月21日までの22日間の会期で開かれ、平成21年度一般会計決算議案、特別会計、企業会計などの決算議案9件について、決算特別委員会を設置し、審査致しました。また、補正予算議案を含め6件を決算議案と合わせて全て可決・認定しました。

○平成21年度一般会計歳入歳出決算認定について

*決算特別委員会は9名の委員で構成され、3日間の日程で審査を行いました。主な論点と指摘事項について申し上げます。

市民税、固定資産税等の基幹税は景気の影響を受けながらも、堅調でありました。財政調整基金の取り崩しが避けられたことも評価できます。しかし、地方交付税の不足を補う、13億円の臨時財政対策債に頼るのは将来の財政運営に支障を来す恐れがあり、これを指摘します。また、当市は不断の努力で行財政改革を推進してきましたが、「入りを図りて、出を制す」という言葉を持って指摘します。自主財源確保策について、戦略的な方針を早々に打ち立てるべきで、次年度予算案に期待します。

○平成22年度富士見市一般会計補正予算(第2号)について

*既定の予算に2億5,439万円を増額し、総額を275億3,216万円とする補正予算成立に成功しました。歳入の主な財源は、国庫支出金544万円、緊急雇用創出基金による県支出補助金7,228万円、旧貝塚集会所跡地売却と車両売却代金による財産収入1,174万円及び繰越金1億5,422万円です。歳出については、市内公共施設に「赤ちゃんの駅(おむつ交換、授乳等ができる場所)」を設置する経費340万円、子育て支援センター運営事業費なら384万円、ごみ集積所からの資源持ち去り防止及び不法投棄防止パトロール(自転車にオレンジ色の幟旗をつけて行うパトロール)経費423万円。商店会が管理する街路灯の建替え、新設や修繕費用のための補助金728万円。国民健康保険特別会計への繰出金として、1億1,647万円を増額しました。

○議会を活性化させるための条例策定特別委員会について(議会基本条例の策定)

*3月議会で設置した特別委員会は11月までに11回の委員会を開催し、当市議会の課題や先進議会の議会基本条例を検証しながら議論を進め、現在は、前文、9章・21条からなる素案を作成し、策定に向けた具体的な議論を展開しています。

(前ページより)
“富士見を見つめ、

埼玉県政への挑戦を決意致しました。”
地方政府は自らの判断と責任により、地域の実情に沿った行政を展開していくことが求められています。それは、その行動と選択に責任を負う「地域主権」の確立を目指すことです。

是非、その実現のための機会を私にお与えください。見近な埼玉県、自立した活気あふれる富士見をつくってまいります。

1957年(昭和32年)8月1日生
関沢小学校卒業
本郷中学校卒業
日本大学豊山高等学校卒業
日本大学経済学部卒業
ホシノ株式会社 代表取締役
富士見市議会議員(3期)

プロフィール



今後の活動予定 (H22.11.10現在)

1月19日(水)	サポート会議	キラリふじみ 展示会議室
	受付/午後6:30	開場/7:00
3月19日(金)	決起大会	キラリふじみ メインホール
	受付/午後6:00	開場/7:00

★現在 鶴瀬・みずほ台・ふじみ野 何れかの駅にて
6:30~9:00頃 駅頭あいさつ中



私の信条と政治課題



私の信条―見せます。聞きます。伝えます。そして、**成果を届けます。**―言い換えれば内外への情報発信と、活性剤の役割を果たすことだと思っています。常に富士見に軸足を置き、市民の皆様、埼玉県の現状や、県におけるわが市の位置・立場を正確にお伝えすること。そして、富士見のすばらしさを外部に発信していくこと。そういったことで、富士見が活性化することをめざします。

平成十九年の埼玉県議会議員選挙では、県の平均投票率四三・六九%に対し、富士見市は三一・五四%という低さでした。これは、県政が市民から遠い存在であること象徴しています。私は常に県政の情報を市民の皆様へ発信し、県を見近なものに感じていただけるように努めます。

また、現在、わが市の財政は決して楽観できる状況ではありません。県内でみれば、主要な施設や産業は荒川から東の県央・県南地域に集中。県西部では川越・所沢に集まる傾向があります。このままでは富士見



富士見市 議場

は取り残され、市の財政も停滞していくでしょう。これを打開するには、東京へのアクセスが便利な上に開発可能な土地が多く、しかも田園風景が残されているといった“富士見の良さ”を外部に強く知らせていくことが必要です。国や県から予算を得ることも大事な仕事ですが、それと同時に、国・県や企業に「富士見に投資したい」と思わせ、実行していただくことこそ、将来につながる活動ではないでしょうか。私はそのために“富士見市の広報マン”に徹します。

みつひろに

苦言・甘言

|| くげん・かんげん ||

入会申込書の添え書きからの抜粋

市と県とのパイプが太くなりますことは、富士見市政の中身が充実していくことと、政に素人の主婦ですら思いつきます。みつひろ議員のご健康、ご飛躍を！

鶴瀬西・新規会員様

みつひろ議員は、人柄・熱意共に素晴らしいものをもっている。是非、県に出て欲しい。その為には、もともともつと根を張って大勢の意見を聞き、支持層を拡げることだ。後援会も今まで以上の強力なバックアップが必要だ。

鶴馬・継続会員様

近くに県政を担う人がいるということは、とても心強い。応援します。

関沢・新規会員様

“よさこい祭り”ありがとう。街おこしの一環！

関沢・継続会員様

富士見をみつめ、県政へ!!

議会報告会、ありがとうございました!!

【嵐を呼ぶ男! ?】10月30日(土)鶴瀬西交流センターにて、^{ぎかいほうこくかい}議会報告会を行いました。台風の中、200人もの方々にご出席いただき、本当にありがとうございました。



【見せます! 伝えます!】議会報告は、皆様に少しでもわかりやすいよう、みつひろ議員がスクリーンに資料を写しだし説明いたしました。^{そういくふう}創意工夫する^{しせい}姿勢に、皆さんも真剣に聞き入り、また^{しつぎおうどう}質疑応答でも数名の方からご意見をいただき、政治への関心の高さが伺えました。

【聞きます!】「ニューヨークの9・11事件の折、誰もが生存を諦めた^{がけき}瓦礫の中で黙々と作業する救助隊・消防隊・作業員を前に、ブッシュ大統領が行ったスピーチの冒頭です。『私は皆さんの声なき声を聞いています。怒り、悲しみ、苦しみを』それが、県政へ挑む政治信条へと繋がっています。」と語った、みつひろ議員。その夢を形にさせていただく為には、後援会の皆様のお力が必要です。みつひろ議員本人はもちろん、後援会役員・前進塾・「みつ星☆ネット」の面々が動きま

す! どうか皆様のご紹介により、支持の輪を更に更に広げていきますようお願い申し上げます。



編集者のつぶやき★

市議として仕事もしっかりしつつ、県議選へ向けて前へ前へ頑張れ!みつひろ!!後援会としても、しっかりバックアップして、横のつながりを広げていきましょう。

星野みつひろ

公式ホームページ

www.hoshino-corp.com/3hiro

HOP10

(Hoshino On Policy 10) Vol.2

—この10年、つぎの10年—



HOP10第2回目です。今回は本郷中学校時代を生徒会長として活動し、お子さんを預けた関沢小・西中学校ではPTA会長を引き受けるなど、学校や教育について星野議員の熱い気持ちをお聞きください。(△は編集部、★は星野議員)
△今回は教育にかける想いを聞かせてください。

★市議当選以来、教育について他市に負けない「富士見の教育」の充実を訴えてきました。特に、教育ビジョンや教育振興計画などを策定し、政策的柱を据えるべきだと考えています。何度となく、教育委員会に対し質問してきましたが、これまでは「検討します」との答弁でした。平成21年、22年と2度にわたり「市をあげての教育ビジョンの策定」と訴えました。そして、22年6月議会で教育長から「第5次基本構想の策定にあわせ教育ビジョンの策定を進める」、「教育振興計画の策定を行う」との答弁を得ました。この議論を幅広く市民のものとし、子どもの未来を創る富士見の教育の創造、充実に寄与する内容としたいと思います。

△なぜ教育委員会だけが関わる教育方針ではいけないのですか。

★市長部局と教育委員会の役割分担は必要ですが、市の^{きほんりねん}基本理念は一つですから、市長も積極的に関わり、教育の目標設定や問題解決のためしっかりと議論すべきで、ブレのない一本筋が入った方針にしなければなりません。そうすれば首長や担当者が替わっても一つの目標に向かって進めることができるはずです。

△教育方針や教育ビジョン以外で何か考えはありますか。

★私の会派では教育に関する視察や教育委員会との勉強会を行ってきました。新たな取り組みについては、2学期制の導入や^{がくりよくていちゃくしえんいん}学力定着支援員の増強など、基礎学力の定着や生活指導強化などを提案して参りました。また、一般質問では、文科省が「ゆとり教育」から^{かじ}舵を切った新学習指導要領への対応について、教育委員会の準備支援体制を^{ただ}質しました。教育は“子どもの明るい未来を育む”ものですから、大変重要なことです。これからも「教育」について積極的に議論していきたいと思います。

→第3回につづく